

(令三 文後)

小論文

- ・問題は1～13ページである。
- ・下書き用紙は中に2枚入っている。

注意 解答は答案用紙に縦書きで記入しなさい。

小論文 二〇〇点

次の文章は、船木亨『デジタルメディア時代の《方法序説》』の一節である（ただし、一部に変更と省略がある）。これを読んで、あとの問一〜三に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

問一 傍線部①「重要なことは、こうした時間理解のもとでは、オリジナルとコピーの区別が曖昧になってくるということです」とあるが、なぜ曖昧になるのか。「こうした時間理解」の内容を明らかにして、三〇〇字以内で説明しなさい。(配点四〇点)

問二 傍線部②「現代では実在よりも現実が重要な主題になりつつあります」とあるが、それはなぜか。本文中で用いられた例を適宜引用しながら、四〇〇字以内で説明しなさい。(配点六〇点)

問三 傍線部③「こうした意味での『情報化』によって、思考と呼ばれてきたものが、内容的にもまた主体との連関においても曖昧なものになってきている」と筆者は述べている。「こうした意味での『情報化』とはどのようなことを指し、それによって思考はどのように変わってきているのかを明らかにした上で、それに対するあなたの考えを八〇〇字以内で書きなさい。(配点一〇〇点)